

昨年農林水産物・食品の輸出額は、1兆2300億円であり、この内、「米や米加工品（日本酒、米菓、パックご飯、米粉及び米粉製品は原料米換算で算出）」の輸出額は、524億円と4%程度でしかない。

しかし、農家数の約4割が稲作農家であるということを踏まえると、「米や米加工品」の輸出増加に取り組むことが必要ではないだろうか。

現在、海外の日本食レストランの店舗数は増加傾向にあり、日本食のマーケットは確実に世界で広がりがつつある。これに合わせて、日本産米の海外需要も年々高まっており、輸出も着実に増加している。

また、輸出の仕方においても、玄米で輸出し、現地で精米することで品質の良い状態で販売をするといった企業の努力も見られている。

さらに、付加価値を付けた販売に取り組む必要がある。

日本酒においては、「米・米加工品」の原料米換算での数量を見てみると約4割を占めているが、輸出額においては、約8割近くを占めている。

加工することにより付加価値を付けることも考えていく必要がある。

現在の円安は、輸出には追い風であることから、メリットとリスクをしっかりと見据えて、「米や米加工品」の海外市場の開拓に期待を寄せるとともに、安定した輸出の仕組み作りに取り組んでいきたい。

:

2 トピック

:~

●釣文化振興モデル港の苫小牧港において釣り場がオープンしました！

(苫小牧港管理組合)

令和2年8月に道内初の釣文化振興モデル港に認定された苫小牧港の東港区内防波堤(A)が、令和4年4月23日に釣り場としてオープンしました。

オープンにあたり、苫小牧港海釣り施設協議会の事務局である日本釣振興会北海道地区支部や苫小牧港管理組合、運営者である一般社団法人苫小牧港釣り文化振興協会がオープンに向け精力的に準備を進め、また、関係者の皆様のご尽力により、無事に釣り場として初日を迎えることができました。

オープン初日は、日本釣振興会本部常任理事の岡田信義氏からの祝辞、日本釣振興会北海道地区支部副支部長の牧野良彦氏、一般社団法人苫小牧港釣り文化振興協会代表理事明村享氏より挨拶があり、これから安心、安全な釣り場として長く楽しんでいただける施設であることをお話しされました。

当日は、天候に恵まれたものの、風がやや強く波の影響もあったことから、参加者は15名程度でしたが、参加者からは「安心・安全な釣り場ができたことはよかった」などの感想をいただきました。

今後は土日祝日の営業がメインとなりますが、大型連休などにおいて釣りレジャー施設として多くの方に利用いただけると期待しております。

また、釣り場の向かいにはコンテナターミナルがあり、普段見ることのできないガントリークレーンの荷役風景や入出港する船も見えるロケーションとなっておりますので、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

ご利用等にあたっては、釣り場を管理・運営する「一般社団法人苫小牧港釣り文化振興協会」のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス: <https://ippon-b.com/>



港でのロケーションを楽しみながらの釣り



来場者の釣果

●横浜港大黒ふ頭P3岸壁の供用を開始しました

(関東地方整備局 京浜港湾事務所)

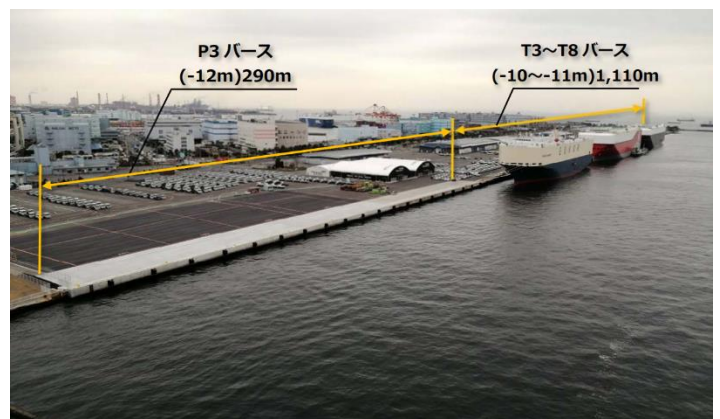
関東地方整備局京浜港湾事務所では、自動車専用船の大型化や完成自動車の取扱台数の増加に対応するため、平成28年度から横浜港大黒ふ頭P3・P4岸壁(水深7.5m、延長260m)及び荷さばき地の再整備を進めてきました。

この度、再整備が完了し、P3岸壁(水深12m、延長290m)として、4月15日から供用を開始しました。隣接するT3～T8岸壁と合わせると、全長200m級の大型の自動車専用船が5隻同時に着岸可能な我が国最大級の延長1,400mの連続バースとなります。

これにより、大黒ふ頭は大型の自動車専用船が11隻同時着岸可能な日本最大級の自動車取扱拠点となり、横浜港の自動車取扱機能の更なる強化を実現します。



横浜港大黒ふ頭 自動車ターミナル配置平面図



P3岸壁・T3～T8岸壁全景

●両津港出張所を開設しました

(北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所)

令和4年4月、北陸地方整備局は佐渡島において、両津港出張所を開所しました。

国と新潟県が一体となり進める両津港南埠頭再編整備事業が令和4年度から本格的に始まったことに伴い、本出張所を開所するものです。

本事業は国土交通省として佐渡での初めての事業であり、カーフェリー岸壁の老朽化対策を実施するとともに、耐震強化岸壁への改良工事を行うものです。これにより航路が維持されることで、島民の皆様や観光客の方々の安全・安心を確保することに繋がります。事業を着実に進めることはもちろんのこと、地域の皆様の声を聞き、ともに成長していける出張所を目指していきます。

また、開所式では、渡辺竜五佐渡市長にご出席いただき、ご祝辞をいただくとともに、「両津港出張所」の看板を掛けていただきました。



両津港出張所(新潟県佐渡市)開所式の記念写真



杉野北陸地方整備局次長(左)と渡辺佐渡市長(右)



